

平成 24 年日本熱物性学会第 1 回(2012-1)役員会議事録

日時：平成 24 年 1 月 21 日(土) 役員会 14 : 00～16 : 45

場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス 研究棟 5F 大会議室

出席者：(五十音順・敬称略)

青木秀之(東北大学)	赤坂亮(九州産業大学)
太田弘道(茨城大学)	小澤俊平(首都大学東京)
片岡秀文(大阪府立大学)	川南剛(神戸大学)
木下進一(大阪府立大学)	河野正道(九州大学)
小林一道(北海道大学)	佐藤讓(東北大学)
柴田浩幸(東北大学)	鈴木進補(早稲田大学)
高野孝義(豊田工業大学)	高橋一郎(山形大学)
田澤真人(産業技術総合研究所)	田中明美(日本女子大学)
長坂雄次(慶應義塾大学)	馬場哲也(産業技術総合研究所)
春木直人(岡山大学)	東之弘(いわき明星大学)
平澤良男(富山大学)	福地賢治(宇部工業高等専門学校)
牧野俊郎(京都大学)	宮崎康次(九州工業大学)
宮本泰行(富山県立大学)	桃木悟(長崎大学)
森川淳子(東京工業大学)	山口勉功(岩手大学)
山田修史(産業技術総合研究所)	山田純(芝浦工業大学)
山田盛二(敷島製パン)	山本泰之(産業技術総合研究所)
渡辺博道(産業技術総合研究所)	

審議事項：

馬場前期会長よりご挨拶があった。震災などがあり、大変な一年だったが、シンポジウムも成功し、皆様の協力に感謝している。佐藤会長よりご挨拶があった。熱物性学会はさまざまな分野の研究者が会員となっているので、互いを繋ぐ役割を果たしたい。また、関西のシンポジウムを成功させたい。その後、配布資料の確認が行われた。

議 題：

(1) 前回議事録確認……………資料番号:12-1-1-1

佐藤会長より、資料 12-1-1 に基づき、前回議事録の確認があり、承認された。

(2) 学生プレゼンテーション賞選考結果報告……………資料番号:12-1-2

桃木活動委員会委員長より、資料番号 12-1-2、資料番号 12-1-10-3 に基づいて、学生プレゼンテーション賞選考結果について報告があった。選考方法は、ほぼ従来の方法を踏襲し、一部を改良した。審査の集計の結果、7名の受賞者を決定したとのこと。7名の内、3名が前年度に引き続きの受賞であったとの説明があり、重複については、今後は行わない方向で、活動委員会において議論していくとの報告があ

った。受賞者の人数についても、やや多くなったようなので、改めて活動委員会で検討していくとの説明があった。

(3)第 32 回日本熱物性シンポジウム報告……………資料番号:12-1-3

長坂シンポジウム実行委員会委員長より、資料 12-1-3 に基づいて、第 32 回日本熱物性シンポジウムについて報告があった。大勢の方にご参加いただき、大成功であった。収支決算書の説明がなされた。

(4)覚書の確認……………資料番号:12-1-4

山田事務局担当より、資料番号 12-1-4 に基づいて、覚書の修正の確認があった。二重線で示された一部の箇所と、印刷部数などについて変更を加えるとの説明があった。

(5)平成 23 年第 32 期活動・決算報告……………資料番号:12-1-5

山田事務局担当より、資料 12-1-5 に基づいて、第 32 期活動報告について説明があった。収支明細書、収支決算書について説明があった。編集委員交通費に関しては、熱物性シンポジウムの際に、集まって編集委員会をおこなったので、支給されなかったとのこと。

(6)平成 24 年事業計画……………資料番号:12-1-6, 12-1-7

山田事務局担当より、資料 12-1-6 に基づいて、平成 24 年事業計画に関して説明があった。理事会・役員会の開催予定が示された。主な活動として、熱物性シンポジウム、会誌の発行、各種委員会などがあるとの説明があった。

(7)平成 24 年予算案……………資料番号:12-1-7

山田事務局担当より、資料 12-1-7 に基づいて、収支予算案の説明があった。資料のとおりとして、承認された。

(8)第 33 回日本熱物性シンポジウム……………資料番号:12-1-8

木下シンポジウム実行委員より、資料 12-1-8 に基づいて、シンポジウムの準備状況について説明があった。申込期限などの期日が決まったとのこと。懇親会は、大阪市立大学の生協食堂を利用するとのこと。山田事務局担当より、第 34 回日本熱物性シンポジウムについて、説明があった。富山大学で開催することを検討しているとのこと。

(9)創立 30 周年記念事業報告……………資料番号:12-1-9

長坂 30 周年記念出版担当より、資料 12-1-9 に基づいて、収支明細の説明があった。

(10)各種委員会報告……………資料番号:12-1-10

編集委員会

東編集委員会委員長より、資料 12-1-10①に基づいて、熱物性誌の編集状況の説明があった。1 件の論文の査読が終わり、さらにもう一件が加わるかもしれないとのこと。

熱物性値サービス委員会

山田熱物性値サービス委員会委員長より、資料番号 12-1-10-②に基づいて、報告があった。アクセス状況についての説明があった。J-Stage のサービスを受けるかについて、質問があり、検討することとなった。

広報委員会

宮崎広報委員会委員長より、資料 12-1-10-4 に基づいて、説明があった。フロントページコラムの依頼をすることのこと。

表彰委員会

牧野表彰委員会委員長より、資料 12-1-10-5 に基づいて、学会賞について報告があった。シンポジウムと理事会・役員会の期日の関係で、募集の期限を 6 月末日に早めたとのこと。

(11)研究分科会報告……………資料番号:12-1-11

水の特異な熱・輸送特性と応用に関する研究会

山田事務局担当より、資料番号 12-1-11-1 に基づいて、説明があった。33 回の熱物性シンポで OS と基調講演を行う予定。

高温融体物性と材料プロセス

柴田評議員より、資料番号 12-1-11-2a に基づいて、説明があった。鉄鋼協会の高温物性値フォーラムとの合同開催が多くなるとのこと。

宇宙材料の熱物性とシステムデザイン

佐藤会長より、資料番号 12-1-11-3 に基づいて、説明があった。継続の申請がなされているが、一旦終了とし、新たに関連の分科会を開催していただけるよう依頼することになった、との説明があった。

低温環境における熱物性の基礎と応用

田中副会長より、資料番号 12-1-11-4 に基づいて、説明があった。本年度は、発表時の資料に解説を加えて、報告書を作成する。

(12)事務局報告……………資料番号:12-1-12

山田事務局担当より、資料番号 12-1-12 に基づいて、協賛、共催、後援関係について説明があった。また、会員異動について説明があった。

(13)役員会等の年間スケジュール……………資料番号:12-1-13

佐藤会長より、資料 12-1-13 に基づいて、平成 24 年の学会スケジュールの説明があった。

(14)その他

新旧役員の自己紹介が行われた。山田盛二評議員より、企業関連の会員の評議員がいなくなってしまうことに関して、危惧が述べられた。

牧野先生より、震災に関連して、当学会で公表した仮設住宅等の断熱性向上の方法について、各方面の協力もあって、東北の一部の仮設住宅に適用されるようになったとの説明があった。